



東京洲高

洲高を応援しよう
 ～洲高魂いつまでも～

題字
 秦莞二郎
 (洲本高校 7 期生)



総会会場 霞が関ビルから国会議事堂をのぞむ



総会会場 霞が関ビル

<p>第 11 号 2017 年 9 月 1 日 兵庫県立洲本高校 同窓会東京支部会報</p>	<p>洲本高校同窓会東京支部 事務局長 正井敏文</p>	<p>東京洲高同窓会 HP アドレス http://www.tokyosuko.jp</p>
--	---	--

平成28年度 東京支部総会の講演から 「淡路島の海と映画と私」

洲本高校 平成12年卒 大継康高

私、大継康高（おおつぎ・やすたか）は、1982年、淡路島の洲本市に生まれまし
た。この淡路島で高校卒業ま
での18年間を過ごし、その
後、京都の大学へ進学。大学
卒業後は、高校時代からの夢
でもあった映像の道へ進むべ
く、映像制作会社に就職をし
ました。

そんなことを考えていると、
今悩んでいることが本当にバ
カらしくなり、楽しいことだ
け考えようと、この海に何
度も勇気づけられてきました
。できるだけ多くの人に、海
沿いで、ぼーっとした時間を
過ごしてもらいたい。この想
いから、「海の映画館」の構想
がスタートしました。

映像制作の仕事は、想像し
ていた以上に過酷で、淡路島
でのんびり育った自分にとつ
ては、何をやってもうまくい
かず、ヘコみ、落ち込む毎日
が続きました。そんな中、毎
年、年末だけは淡路島に帰っ
て来ていたのですが、帰るた
びに洲本市にある大浜海水浴
場へ行き、海の景色と波音に
毎回癒されていました。

海沿いで波音を聞きながら
水平線を眺めていると、地球
のとても大きい大きさを改め
て実感させられます。その大
きな地球で考えると、今ここ
にいる自分という人間が本当
に小さな存在だということに
気づかされます。その小さな
人間の心の中の悩みなんても
のは、さらにちっぽけで……。



総会で講演する大継氏

2015年4月。淡路島を
舞台にした映画の製作と、海
の映画館をつくり映画祭を開
催することを目的とした「海
の映画館をつくらうプロジェ

クト」の企画書を持って、あ
る方を訪ねました。これまで
淡路島で多くの映画やドラマ
のロケ地を誘致している「淡
路島フィルムオフィス」の津
守さんです。津守さんは、こ
れまで築いてきた淡路島のネ
ットワークでプロジェクトに
協力してくれそうな方をいろ
いろと紹介してくれました。
まず、最初に紹介していた
だいたのが、淡路島に唯一残
る映画館「洲本オリオン」の
館長・野口さんでした。洲本
オリオン自体は、2013年
に休館となったのですが、館
長の野口さんは、島内のみな
らず島外でも上映技師として
いるんな劇場で映画を流し続
けている方でした。しかも、
野外上映会も何度も行ってい
るとのこと、**「海の映画館」**
実現のためには、どうしても
協力していただきたい方のひ
とりでした。

淡路島フィルムオフィスの
津守さん、洲本オリオンの野
口さんと心強い協力者も加わ
り、本格的にプロジェクトを
始動することができるとな
りました。

このころ、同時に映画の脚
本作りもスタートしてしまし
た。映画のタイトルは『あつ
たまら銭湯』銭湯を舞台にし
た不器用なお爺さんの恋物語
です。メインとなるお爺さん
は、淡路島出身の俳優・笹野

高史さんをイメージしながら
脚本を書いています。自分
がもし映画を撮ることがあれ
ば、舞台は淡路島で、主演は
淡路島出身で洲本高校の先輩
にあたる俳優・笹野さんで、
と、心の中で決めていたので
す。

ただ、一度も笹野さんと面
識がないうえ、映画を撮った
こともない自分の作品に果た
して出演していただけるもの
だろうか……。そう思いなが
らも、内容を書き直す度に事
務所へ何度も脚本を送り続け
ていました。

2015年7月。笹野さん
の事務所の社長から電話があ
りました。内容は「淡路島の
ためなら笹野が映画に出ると
言っている」とのこと。さら
に、事務所の社長の「厚意で、
同じ事務所女優・松原智恵
子さん、笹野さんの息子が俳
優のささの堅太くんの出演を
承諾していただけることにな
りました。

2016年2月。今回の映
画で淡路島から新たなヒロイ
ンを誕生させたいという想い
から、淡路島全域でヒロイン
オーディションを開催しまし
た。応募総数79名の中から
グランプリに輝いたのは、当
時、まだ中学3年生だった南
あわじ市の中尾萌那ちゃん。
萌那ちゃんには、松原智恵子
さんの50年前の高校時代を



『あつたまら銭湯』の撮影風景。笹野高史さんと松原智恵子さんが演技中

演じてもらうことにしました。
2016年4月17日。映
画『あつたまら銭湯』がクラ
ンクイン。撮影に入る前に、
伊弉諾神宮でロケの安全と無
事故を祈願。この日は朝から
土砂降りの雨だったので、
祈願をした後は、嘘のように
快晴に。初日から撮影をスタ
ートすることができました。
まずは、最初の2日間、ささ
の堅太くんと中尾萌那ちゃん
のシーンから撮影。そして、
3日目からは、笹野高史さん、
松原智恵子さんも合流し、今
回のメイン舞台である銭湯で
の撮影がはじまりました。1
週間という短い撮影スケジ
ュールの中で、しかも、初めて
の監督作品で不安も大きかつ
たのですが、笹野さんと松原
さんに多くのアドバイス、叱
咤激励も頂き、無事撮影が終
了しました。

2016 年 9 月 19 日。映画祭のメイン会場である大浜海水浴場に、海の上に浮かぶ巨大スクリーンが設置されました。「海の映画館」の完成です。会場には、淡路島の方以外にも多くのお客さんが集まりました。オープニングセレモニーには、映画『あったまら銭湯』主演の笹野高史さん、ヒロインの中尾萌那ちゃんによる舞台挨拶も行われ、会場は大いに盛り上がりました。そして、太陽も沈み、上映開始。海に浮かぶスクリーンに、ついに映画が上映されました。この「海の映画館をつくるプロジェクト」を通して、改めて淡路島の素敵な風景、そして、島民のあたたかさを再認識することができました。映画祭は、毎年続けていきたいと思っています。そして、近い将来、「海の映画館」と言えば淡路島」と言われるような、全国的にも、世界的にも知られるイベントへと発展させていきたいと思っています。

※「うみぞら映画祭」は昨年に続き、2017 年 5 月にも、淡路島で開催されました。



日が暮れてから、海に浮かぶスクリーンに、映画『あったまら銭湯』が上映された。



大浜海水浴場にスクリーンが設置され、開催された「うみぞら映画祭」。



主人公のわらび餅屋さんを演じる笹野高史さん。わらび餅の屋台は懐かしい光景です。



映画祭で挨拶をする大継氏。隣はヒロインの中尾萌那さんと洲高 OB で俳優の笹野高史さん。



洲高 OB で漫画家の藤堂裕さんによる 2017 年の映画祭のポスター。



映画祭の会場であり、ロケも行われた大浜海水浴場で、映画の出演者とスタッフの記念写真。



映画『あったまら銭湯』を紹介する 2016 年の映画祭のポスター。

平成 28 年度 総会風景

東京洲高同窓会 HP <http://www.tokyosuko.jp> にも、写真満載です。



出席の皆さんです。懐かしい顔ありますか？



総会 東京支部支部長挨拶



洲本高校同窓会会長永田氏 挨拶



受付



映画上映



案内



懇親会 正井事務局長による乾杯の挨拶



今年の新参加の方々です。嬉しいです。



還暦おめでとうございます。



若手も増えてきました！



合唱部が校歌で締めました。



毎年参加ありがとうございます。

洲本市議会 新庁舎で、タブレット端末を使用した会議システムを導入、運用開始

議会改革の一つとして、ペーパーレス化による紙使用量の削減、印刷費等の関連する経費の節減、情報共有のスピード化、議会運営の効率化を目的とし、平成26年度からタブレット端末の導入に向け検討を重ね、平成28年12月定例会では議員のみ先行し、平成29年3月定例会からは市幹部の出席者もタブレット端末を用いた会議システムを開始いたしました。

淡路島内では初の試みであり、定例会に先立ち議員や市幹部の出席者に操作説明会を実施いたしました。

また、セキュリティ対策を施し、洲本市議会情報通信機器端末使用規程を制定、タブレットの使用について細かくルール作りをしております。3月定例会では紙資料と端末を併用しましたが、今後は完全ペーパーレス化を進め、議会活動がより活性化することを目指していきたいと考えております

【洲本市議会事務局】



平成 29 年 3 月定例会 タブレットを使う市会議員、市幹部



平成 29 年 2 月竣工 洲本市役所 新庁舎

洲本市役所は今年から新庁舎に移転しました。ご存知でしたか。この度は、産経新聞にも記載された市議会の会議システムについて。寄稿をお願いしました。

現役の洲本高校2年生が東京の大学や企業を訪問
「未来探究東京ツアー」で東京支部と交流

現役大学生も参加し、未来探究の道標に

支部長・津田喜人
(昭和41年卒)

洲本高校・総合探求類型コースの催す「未来探究東京ツアー」御一行様が今年もやってきました。これは、同コースの2年生が渋谷区にある国立オリンピック記念青少年センターを拠点に、首都圏にある最先端の研究施設や大学、そして企業などを訪問する洲本高校自慢のツアー。2泊3日ツアー初日の夕刻に、宿舍のオリンピックセンターで洲本高校同窓会東京支部との懇親会が、毎年行われています。今年のツアー初日は、最高気温25度と平年よりも5度低い8月2日でした。例年の茹だるような暑さとは違い快適な環境での懇親会となり、

会議システムの導入により紙に比べ、わかりやすい、充実した会議資料を電子的に速やかに、共有できるようになったとのこと。これからも洲本市注目ですね。

【東京洲高広報係】



に進学した現役大学生二人も参加し、初々しい洲高OB・OGの経験談が、道標の幅を広げたに違いないでしょう。夢のひとつに「来年の甲子園出場」がありました。これを語ったのが双子のバッテリーというのにもびっくりですが、なんと懇親会のテーブルで同席した役員の高年生の息子達だったとは。最後に「洲高同窓会があるある。」を紹介しました。

【ツアー訪問先】

メディアイオ社、東京大学、筑波大学、JAXA、筑波研究学園都市地質標本館、日本体育大学、未来科学館
【東京支部の参加役員】
津田喜人、溝上卓也、的場周輔、奥野恵正、浜辺美佳子



現役高校生の語る夢や聞いたいことに先輩の経験談が応え、大いに話が弾んだようです。少しでも未来探究の道標として役にたっていればと願っています。また、今年は首都圏の大学

東京支部役員おすすめ「淡路島のお土産」
第2弾 淡路島産玉ねぎのスープ

料理にも使えるので、
常備品としても便利です

榎本裕子（昭和41年卒）

夫の転勤で東京と大阪を行き来しましたが、子どもの学校のこともあり、千葉県に居を構え、こちらでの生活が一番長くなりました。現在は千葉県流山市で暮らしています。

淡路島には高齢の母がおり、年に2回は帰るのですが、お土産としてときどき購入するの

が、淡路島産玉ねぎのスープです。淡路島の玉ねぎは甘みがあり、いまではブランド玉ねぎとしてすっかり有名になりました。淡路島の玉ねぎを使ったスープもいろんなメーカーから出ているのですが、私が気に入っているのは、「兵庫県淡路島産オニオンスープ」(株式会社ピバレ・ジャパン)。大阪のメーカーですが、パッケージが洗練されていますしチャック式で使い安く、500円程度とお土産にもお手頃な価格です(値段は、販売店により異なります)。

私自身は、淡路の観光地のお土産屋さんや、イオン洲本店のお土産品のコーナーで購入したことがあるほか、千葉の品揃えのいいスーパーで「バイヤー

のおすすめ品」を企画販売しているときにも見つけて、購入しました。

オニオンスープはお湯で溶かして飲むだけでも十分おいしいのですが、カレーやポトフなど料理にも使っています。また、私は朝食がパンなので、野菜やウインナーなどを加えてスープを作り置きしています。お野菜も取れるし、朝の時間短縮にもなりますよ。

玉ねぎは血液をサラサラにする効果があり、身体にいいと言われていきますので、お土産にいかがですか? いろいろ食べ比べをして、お気に入りのお品を見つけるのも楽しいと思います。



「兵庫県淡路島産オニオンスープ」
7グラム 10袋入

「東京でこんなことやってます!」
企業をサポートするPRコンサルタント

魅力的な企業や商品を

メディアにつなぐお手伝い

千葉加織（昭和63年卒）



夫の仕事の都合で神奈川県横浜市、港北ニュータウンに十五年ほど住んでいました。テレビドラマの舞台にも使われていた、デパートの屋上に観覧車のある街で、ご存じの方も多いかもしれません。子供の進学を機に引越しをして、今年4月より、東京都内でも仕事をできるようになりました。現在は「小さな会社に魔法をかける、小さな会社の魔法使い」というコンセプトで、PRコンサルタントをしています。個人事業主としてだけでなく、パートナーのPR会社とチームで活動することもあり、皆さんがご存じの企業さんのお手伝いもさせていただいています。

「PRコンサルタントと言っても、それ、何する人なん?」



ドリンク剤「眠眠打破」の20周年記念キャンペーンをお手伝いしました(中央が千葉さん)。

そんな風を感じられた方も多いかと思えます。私達PRコンサルタントは、テレビや新聞に取材をしてもらうためのサポートをしています。

具体的には、素晴らしい商品やサービスをお持ちなのに、伝える方法がわからないで損をしている社長さんや商品を、メディア関係者にご紹介し、取材等につなげていきます。そして、たくさんの方にその存在を知っていただき、ビジネスを、社会を、活性化させることが目的です。

東京のメディア関係者、約

二千人の方々に情報提供できるシステムを所有しているの
で、直接東京のテレビ局に出向かなくても、インターネットを通じての情報提供が可能です。

淡路島の魅力を中央メディアでも発信していきたいというご要望等ございましたら、ご相談も可能です。ご興味のある方はご連絡ください。
kaori@p-mind.biz

■役員紹介 ★新任役員

支部長	津田喜人	・昭41卒
副支部長	古池建一	・昭40卒
副支部長	榎本裕子	・昭41卒
副支部長	正井敏文	・昭43卒
副支部長	岡坂久隆	・昭49卒
副支部長	中野英男	・昭43卒
副支部長	橋本満	・昭45卒
副支部長	坂本裕子	・昭45卒
副支部長	青木千代	・昭46卒
副支部長	坂本敦子	・昭46卒
副支部長	原田佐紀子	・昭46卒
副支部長	納新二	・昭47卒
副支部長	溝上卓也	・昭50卒
副支部長	的場周輔	・昭54卒
副支部長	東睦治	・昭57卒
副支部長	伊藤美喜	・昭57卒
副支部長	千葉加織	・昭63卒
副支部長	奥野恵正	・平成卒
副支部長	濱辺美佳子	・平12卒
副支部長	濱端竜司	・平12卒

【収入の部】			【支出の部】		
	(平成27年度)	(平成28年度)		(平成27年度)	(平成28年度)
科目	決算額(円)	予算額(円)	科目	決算額(円)	予算額(円)
前期繰越金	859,629	752,069	役員会・事務関係費	228,347	220,000
本部補助金	100,000	100,000	振込み手数料等	23,228	20,000
年会費	378,000	400,000	会報印刷費	52,812	50,000
総会費	360,000	480,000	総会通知費	164,154	170,000
寄付金等	112,000	70,000	総会費	539,389	650,000
その他(利息)	174	0	広告代(県人会名簿)	10,000	64,000
収入合計	950,174	1,050,000	ホームページ費用	39,804	40,000
収入総計	1,809,803	1,802,069	寄付金等	0	0
			今期支出合計	1,057,734	1,214,000
			次期繰越金	752,069	588,069

☆平成二八年総会決議
 平成二七年決算報告承認の件
 〔号議案〕
 平成二八年度予算案承認の件
 〔号議案〕

年会費のお支払いと 寄付のお願い

毎年、年会費、寄付にご協力いただき感謝申し上げます。昨年は159名の方に年会費を頂き、19名の方に寄付をいただきました。

総会、懇親会に参加できない方も東京支部の活動継続のために、年会費のお支払いにご協力をお願いします。

従来、普通会员、維持会員で会費が分かれていましたが、支部活動の財政緊迫から平成27年度より**年会費を2,000円**に統一しております。この枠を超えて応援していただける方は**寄付**という形をお願いします。

近年、関東地区への進学、就職が減っており、東京支部としては、母校洲本高校の活性化のためにも関東で働く卒業生を増やしていくことが必須と考えております。微力ではございますが、このための活動を支えるためにも本支部活動の継続は必要であると考えております。

総会・懇親会の景品を 募集しています！

懇親会ではジャンケン大会やクイズなど、毎年楽しい催しを行っています。景品は、役員の手作り作品や勤務先の製品など、関係者からご提供いただいたもので賄っています。会員の皆様も、勤務先の宣伝を兼ねていかがでしょうか？また、趣味で作られている品物等も結構です。ご提供いただける方は、事務局（本会報表紙掲載）までご連絡をお願いいたします。

平成29年度 洲本高校同窓会東京支部 第13回 総会・懇親会開催のご案内

開催日時：平成29年11月23日（木曜祝日／勤劳感謝の日）

受付：10:00 総会：11:00 懇親会：12:45

開催場所：東京霞ヶ関ビル35階「東海大学校友会館」

TEL：03-3581-0121 銀座線虎ノ門駅より徒歩2分

【総会】11:00～12:45

平成28年度会計報告、平成29年度予算報告のほか、洲高卒業生を講師にお迎えしての講演会、記念撮影を行います。

講演：「海の恵を宝に変える」 ～淡路島の水産加工会社の挑戦～

講師：武田康平（たけだ・こうへい）氏 57年卒（34期生）

昭和38年6月13日洲本市生まれ。由良中学から洲本高校、立命館大学経営学部へ入学。卒業後は株式会社イズミヤに入社。2年間の勤務を経て淡路島へ戻り家業に従事。平成元年に武田食品冷凍株式会社設立、代表取締役就任。家族は妻と大学1年生・高校2年生の娘。趣味は読書、旨いものを食べながら酒を呑む、出張先での徘徊、SNSなど。

講師のひとこと：淡路島は今マスコミで取上げられる機会が激増し、人気のスポットやお店も増えてにぎやかになっています。とても嬉しいことだと思います。しかし、一方では天候不良等による農作物の不作、水揚げ減少等による漁業の衰退。淡路島経済を支えてきた一次産業は深刻な状況を迎えています。漁業においては、今年は春の風物詩であるイカナゴも、明石だこで知られる真ダコ漁もこれまで経験したことがない程の不漁。伝統的な島の食文化が維持できない極めて深刻な状態のなか、新しい事業を展開する必要性に迫られています。私たちは数年前から有効活用されてこなかった「紀淡海峡の天然ワカメ」の商品化や網に入ってきて引取り手がなかった「サメ・エイ」の有効活用などの事業に取り組んでいます。講演では、これまでの取組みや成果、これからの課題・展望についてお話させていただきます。

【懇親会】12:45～15:30

着席でテーブルを囲み、和洋バイキングとお飲み物をいただきながら懐かしい洲高青春時代を思い出し、語り合しましょう！

【会費】支部年会費：2,000円 総会懇親会費：8,000円（参加者）

（平成23年以降の卒業で、首都圏在住の学生の方は、事前申込みで無料ご招待します。返信はがきにその旨ご記入ください）

出欠のお返事、および各会費のお振り込みは、10月20日（金）までよろしくようお願い申し上げます。